

令和6年度 松江養護学校 学校運営方針

【グランドデザイン】

【校訓】 「明るく」「強く」「なかよく」 【乃木校舎訓】 「希望」「挑戦」「感謝」

【めざす学校像】

子どもを中心に置き、教職員が保護者や地域と共に、子どもの地域の中で生き抜いていく力を育み、魅力ある教育を目指す学校

【教育目標】

自立と社会参加を目指し、実社会、実生活の中で汎用性の高い力を培うとともに、自分や他人を大切にしながら、地域の中で力強く生き抜いていこうとする態度を育む

【育てる子ども像】 グラデュエーションポリシー

「地域の中で持てる力を十分に発揮し、力強く、自分らしく生き抜いていく子」

(確かな学力) 夢に向かって努力し、身に付けた力を家庭生活や社会生活の中で使える子

育成すべき資質・能力 目標(夢)をもつ、基礎学力(働く力、生活する力)、思考力、判断力、表現力、情報活用力、創造力、応用力

(豊かな心) 感性を磨き、思いや考えを働かせながら、他者と共によりよく生きる子

育成すべき資質・能力 感じ取る力、感じたら動く力、話し合う力、対立・ジレンマを乗り越える力(忍耐力)、協調性、相談力、献身性(感謝)

(健やかな体) 自分の健康に関心を持ち、体を動かすことを楽しみながら、体力をつけていく子

育成すべき資質・能力 体力、持久力、健康管理力

(困難の改善・克服) 自分の苦手なこと、困っていることを知り、自分から解決していこうとする子

育成すべき資質・能力 自己理解(メタ認知)・障がい受容、自己肯定感・自己有用感の保持、自己選択力・自己決定力、課題解決力、

合理的配慮を求める力(セルフ・アドボガシー)、主体性(挑戦)

【教育課程の編成及び実施に関する方針】 カリキュラムポリシー

- ・小学部→中学部→高等部において、12年間を見通した連続性のある教育課程を編成する
- ・学部が進むにつれて、支援の程度、集団の大きさ、集団の構成等を考慮しながら指導体制を整える
- ・発達段階に応じて各教科等の目標を設定し、実社会、実生活の中で汎用性の高い学習内容を取り扱う
- ・高等部コース制においては、一般就労、福祉就労等に必要能力・態度を育成するカリキュラムを編成する
- ・学齢期に応じて「in」「about」「for」「with」を意識した地域との協働を進めていく

【求める生徒像(高等部)】 アドミッションポリシー

- ・本校を自分の意志で選択し、目標をもって入学する者(本人の意思)
- ・本校の学びを理解し、自立と社会参加に向けて努力する者(適した教育課程)
- ・自分を理解し、得意なことをさらに伸ばすとともに、苦手なことにも挑戦する者(障がいの理解)

【めざす教職員像】

- ・人権意識を研ぎ澄まし、子どもから学ぶ謙虚さを持ち、人間力(教師力)をより高めていく人
- ・子どもと保護者の夢(ニーズ)を共有し、その実現のために努力し、学び続ける人
- ・課題(ニーズ)を的確に捉え、解決するために具体的な計画を立て、行動に移す人
- ・答えのない課題にも皆で立ち向かおうとする人

学部目標

小学部

中学部

高等部
総合コース

高等部
職業コース

高等部
安来分教室

寄宿舎